

自然災害のメカニズムと対応策を映像化し、子どもたちの命を守る教材を提供する。

2011年3月11日の東日本大震災は、自然災害の多い日本で最重要視すべき防災意識が国全体として足りなかったことを示した。この年から小学校の教科書に「防災」が取り上げられたのは皮肉である。NPO法人イーフラッグスプロジェクト推進協議会が子どものための防災ムービーを制作した矢先のことでもあった。

災害に無知であることが、被害を大きくする。

NPO法人イーフラッグスプロジェクト推進協議会では、2010年度にAJOSCの助成を受け、小学生向けの防災用ムービー教材を作成した。それをベースとして『防災ウェブサイト』を構築し、ホームページ上で子どもたちが自由に閲覧できるようにした。そして翌年度は、地震などのメカニズムをより詳しく紹介する教材を作る予定でいた。しかし、あの大きな被害をもたらした東日本大震災が発生し、活動内容は大きく転換することになる。

「災害が起きた直後でなければ集められない情報をまず収集することにしました」と、同協議会 常務理事 田村昭彦さんは語る。

そこでスタッフたちが手分けをして、被災地の学校を訪

問した。そこでわかったことがある。「悲劇の大半が人災」だということ。そして、子どもたちを指導する先生方の多くは災害に対する知識が不十分で、どう教えていいのかわからない状態だったということである。

同じ地域でも日頃から防災意識が高く、定期的な訓練を行っていた学校では被害が少なく、逆に防災への取り組みが少なかった学校では多くの犠牲を出したケースもある。この年から小学校の教科書に「防災」が取り上げられてはいたが、いざというときの判断ができるほどの訓練を徹底するまでにはいたっていなかった。

「教師の知識が被害の差になってあらわれました。これは私たちにもショックでした。小学生への教材以上に教師が学べるものを作る必要があったのかもしれませんが。また教育委員会などを通じて、もっと積極的に学校へPRすべきだったとも思っています」と、田村さんは残念がる。

そうした反省点はあるものの、今の日本ほど災害への関心が高まっている時期もない。同協議会ではこの機を逃さず次の被害を最小限に抑えるために活動を活性化させたいとしている。

避難時の実用性の高い防災ムービー。



防災ムービーはホームページ上で誰でも無料で見られる



アニメーションや動画を使用しわかりやすく解説されている



スタッフが調査に行った際に撮影した被災地の様子

イーフラッグスの防災ムービーは、ホームページ上で誰でも無料で見る事ができる。現在、「小学校低学年」「小学校高学年」「中学・高校・一般」と視聴者の年齢層別に3つのタイプに分けられ、項目は同じだが、例えば小学生低学年向けには伝えるべき情報を限定し、アニメーションを多く使うなど、わかりやすさも取り入れている。

項目の最初は『基本編』。世界的に見ても日本は自然災害の多い国だが、ムービーを見れば日本列島の置かれている位置や地形などがよくわかる。

次の項目は『地震・津波編』。映像では地震や津波による被害や発生するメカニズムを紹介したあと、実際にどのようなことが家の中で発生するかが解説される。次に、地震に備えて普段から備えておくこととして、家の中の「危険な箇所の分布図」を作ることを奨励している。倒れそうな家具がある場所、物が積み重なっている場所などをあらかじめ調べておくのだ。

「これを見た日本の子どもたちがみんなで実践したら、



非常に実用性が高い内容となっている

担当者より



日本がもっとも強化しなければならない分野だと思います。

NPO法人イーフラッグスプロジェクト推進協議会
常務理事
田村昭彦さん

本来は国が作らなければいけない教材だと思います。作っても活用されなければ意味がありませんから、我々も今後はPRなどにも力を入れていく必要があります。今の日本がもっとも強化しなければならない分野です。防災に対する関心が高いAJOSCにも引き続きご協力たまわりたく御願ひ申し上げます。

大きな防災効果があるでしょう。ここから大人へ波及させていきたいと考えています。子どもに固定していない家具などを指摘されたら、親御さんも本気になって取り組んでくれるかもしれませんから」と田村さんは語る。

項目は『台風・豪雨編』『火山編』と続いていく。小学校高学年向けともなると、洪水の際の歩き方やロープ・笛の活用の仕方など、避難時のノウハウが紹介されている。また、火山編の方では日本列島には108もの活火山があるといった基礎知識から、気象庁の火山情報、ハザードマップの見方などの情報が網羅されている。ムービーの全体を通じて、自然災害では『自分の命を守ることができるのは自分だけ』ということを主張しており、いずれも実用性が高い内容だ。

東日本大震災を受けて、この防災ムービーに追加しなければいけない項目ができた。原発の事故である。これまで、放射性物質から避難する方法など、どこにも紹介されていない。

「地震といえば火事でしたが、原発事故のほうも被害は甚大です」

田村さんたちは今後、上がってくるデータなども踏まえて、原発事故も想定した教材を作ろうと決めている。

防災ムービーはこちらから閲覧できます。
http://www.e-flags.tv/movies/high_1.html